

令和7年度

学 校 要 覧



<羽村第一中学校区 小中一貫教育>

よく考え進んで学ぶ 認め助け合い広く思いやる 自ら鍛え丈夫な体を作る

<小作台小学校 教育目標>

よく考える子

思いやりのある子

げんきな子

校 歌

作詞 中村 千栄子
作曲 岩河 三郎

一. 羽村の自然の中で
いま生きている

白い小犬のような

小作台の子ども

体全部でぶつかって

自分の力試してる

いきいきと

たくましく

二. ぼくたちは見つめてる

わたしたちは見つめてる

多摩の堤の桜の春を

小魚おどる夏のせせらぎ

秋紅葉のくぬぎの色を

あの大岳の雪のまぶしさ

たがいの胸に

映してる

三. 羽村の歴史と共に

いま伸びていく

若い木立のような

小作台の子ども

肩をみんなで組みあって

豊かな心育ててる

のびのびと

美しく

〒205-0001 東京都羽村市小作台4-13-1

TEL 042-554-1431 FAX 042-578-1524

<http://www.hamura-school.ed.jp/ozakudai-es/>

小作台小学校の目指す児童像

地域と共に・主体的に学ぶ子供が育つ学校

～自分の考えをもち豊かに表現できる子～

学習の基礎・基本を身に付ける ◇個に応じた学習指導の充実 (算数科少人数指導) ◇学習サポーター、特別支援教育 支援員の計画的配置 ◇授業内容の定着(ノート指導・考 えを伝える表現活動・毎時間の 自己評価活動)	強い体をつくる ◇運動の日常化、習慣化 ◇運動の継続 ◇アクティブタイムの推進 ◇様々な運動へ挑戦 ◇食育指導の充実 (野菜の栽培、食への感謝、栄養)	自分も人も環境も大切にする ◇いじめを絶対に許さない 学校風土づくり ◇一人一人の違いを認め、 相手を尊重する心情・態 度の育成 ◇栽培活動の奨励 ◇食・環境と関連した学習 の充実
言葉の力を身に付ける ◇基礎的・基本的事項の定着 (漢字練習・計算練習を継続する) ◇読書指導・図書利用指導の充実 (朝の10分間読書、子ども司書・ おすすめの本の紹介、司書・ボ ランティアによる読み聞かせ) ◇学年×10分の家庭学習の継続	自信をもつ ◇自己有用感、自己肯定感の育成 (認め、励まし、共感する教育) ◇小中一貫教育の計画に基づく 小教科指導、生活指導、特別支 援教育、英語教育、羽村学、 人間学の取り組みの充実	自分を知る ◇自分で考える時間の確保 ◇作文、日記から自己を見 つめる機会の保障 ◇得意なものを伸ばす
考えを表現する力を身に付ける ◇表現の場の設定と重点的指導 (課題解決学習による考えの練り 上げ、総合的な学習の時間での 情報発信)	ふるさとを大切にする ◇郷土教材の活用(自然・人材・ 歴史・文化財・施設) ◇人を通して学ぶ人間学(キャ リア教育)の取り組みの充実 ◇地域行事への積極的参加 (稲作体験・各種スポーツ大 会)	自分の頭と心を鍛える ◇辛くてもすぐにあきらめ ない継続活動の支援 ◇失敗は成功のもと (失敗の経験を成功に結び 付ける) ◇我慢させる場づくり ◇自分のことは自分でやる 習慣の定着

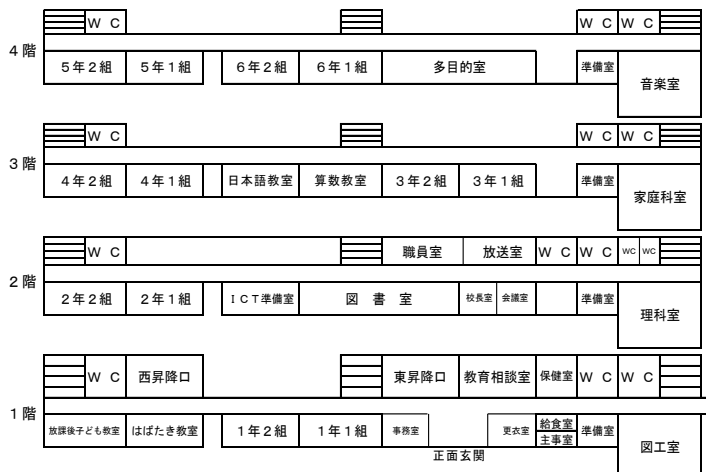
生活規律の確立「あじみこし」

- ①あいさつ(気持ちのよいあいさつ・返事)
- ②時間を守る
- ③身なり・身だしなみ
- ④言葉遣い・心遣い
- ⑤姿勢(座り方・聞き方・心のもち方)

学力向上の推進

- ・全学級毎週末に次週の学習予定を載せた
学級便りの発行
- ・学習規律の徹底
(主体的に話を聞く、学習の準備をしっかり
する、身の回りの整理)
- ・家庭学習の習慣化

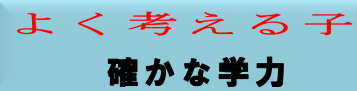
教室配置



小作台小学校付近の略図



<交通案内> JR 青梅線 小作駅西口下車



小中一貫教育を柱とした質の高い教育の実現

基礎学力の定着

- ・分かる、楽しい、学びがいのある授業をするために指導事項の明示、学び合う場面・考えをまとめて伝える場面の設定を重視した授業を行います。
- ・1人1台端末を活用して児童の個別最適の学びを図ります。
- ・習熟度に応じた算数科の指導を実施し、個に応じた指導を行って基礎基本の定着を図ります。

学校農園の活用「生活科・理科教育」

- ・全学年で野菜・植物の栽培活動を行います。
- 【食育・環境教育への興味・関心の向上】**

体験を生かした自力解決力の向上

- ・ 外部講師を招いて、本物の技術や知識、経験から学びます。
- ・ 地域の方から、ふるさと羽村の良さを学びます。
- ・ 地域英語講師を活用し、小学校１年生から英語教育を行います。

豊かな読書活動の推進

- ・朝読書や読み聞かせなど、読書活動の充実を図ります。
- 【年間 2 回の読書週間実施、本の紹介カードの取り組み】**

福祉体験

- ・地域の高齢者や障害のある方々と交流や体験をします。



《職員一覽》 令和7年4月7日現在

地域と共に・主体的に学ぶ子供が育つ学校

自分の考えをもち、豊かに表現できる子

昭和五十二・四	羽村町立小作台小学校 開校 初代 福澤好一校長 就任 児童数四百十名 十一学級 教職員十八名 他町職員六名
昭和五十二・六	プール完成
昭和五十二・七	体育館完成
昭和五十二・九	校庭造成 整地完了
昭和五十三・三	校旗制定
昭和五十三・七	校歌制定
昭和五十三・三	ブレイブ教室（2教室分）設置 学校図書館として利用
昭和五十四・三	学級園 池 気象観測地造成
昭和五十四・五	焼がま小屋設置
昭和五十六・三	プレハブ倉庫設置 下水道工事完了
昭和五十六・三	鉄筋防音校舎4階建（普通教室8）増築
昭和五十六・三	スプリングクラス設置 プレハブ校舎解体
昭和五十六・三	校舎側フェンス改修
昭和六十一・二	開校十周年記念式典
昭和六十一・五	羽村町教育研究指定校として研究成果を発表
昭和六十二・四	第二代会長 今上 忠治校長 就任
昭和六十二・四	第三代会長 井村 重仁校長 就任
昭和六十二・四	市制施行により羽村市立小作台小学校に改名
昭和六十二・四	プールの温水シャワー設置
平成三・十一	東京都教育委員会人権尊重教育推進校
平成三・十一	羽村市教育委員会研究指定校3年間の研究成果を発表
平成三・十一	図書館改修
平成四・十一	図書館改修
平成四・十一	第四代会長 堂免 國好校長 就任
平成五・九	校庭改修
平成七・四	開校二十周年記念式典举行
平成八・十一	校舎・体育館 改修工事 完了
平成九・十一	羽村市教育研究指定校として二年間の研究成果を発表
平成十・九	研究主題「生きる力を育む特別活動の指導」
平成十・九	第五代会長 鈴木 保一校長 就任
平成十一・四	校舎改修工事・コンピュータ教室設置 完了
平成十一・四	小作台小学校ジュニアバンド（OJ B）
平成十四・二	東京都教育委員会より表彰
平成十四・四	学校週五日制による新教育課程実施
平成十四・四	学校教育目標 改定
平成十四・九	（よく考える子 思いやりのある子 げんきな子）
平成十四・九	プレハブ教材室増築工事完了
平成十五・十二	「小中連携 教育に関する実践研究校」研究発表会
平成十六・四	第六代会長 曾我部 多美校長 就任
平成十六・四	二期制開始
平成十六・十一	朗読ボランティア 東京都教育委員会より表彰
平成十六・十一	プールの改修
平成十八・二	東京都「日本の伝統・文化理解教育推進校」研究発表会
平成十八・二	開校三十周年記念式典 举行
平成十九・十一	第七代会長 江本 裕子校長 就任
平成二十・四	羽村市研究指定校（二年計画）初年度
平成二十・四	東京都スポーツ教育推進校指定 初年度
平成二十・四	羽村市研究指定校として2年間の研究成果を発表
平成二十・四	研究主題「言葉の力をはぐくみ、豊かに表現する子供の育成」
平成二十・四	第八代会長 海東 朝美校長 就任
平成二十・四	東京都言語能力向上推進校（三年計画）
平成二十・八	平成二十四・二五年度東京都言語能力向上推進校
平成二十・八	平成二十六・二七年度東京都言語能力向上推進校
平成二十・八	第九代会長 中村 匠校長 就任
平成二十・八	大規模改築工事（西側普通教室8・トイレ・全面塗装）
平成二十・八	開校四十周年記念の取組
平成二十・八	OJ B全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会出場
平成三十・二	第十代会長 小山 夏樹校長 就任
令和二・四	羽村市教育研究指定校として研究成果を発表
令和二・四	研究主題「持続可能な社会の創り手となるための資質・能力の育成」
令和七・四	第十一代会長 清水 治彦校長 就任

四十八年のあゆみ

《生活時程》

朝読書	8:15~8:35
計算タイム	
(月) 全校朝会	
(木) 集会	8:20~
朝の会	8:35~8:40
1 校時	8:45~9:30
2 校時	9:35~10:20
〔中休み〕	
アクティブタイム	
3 校時	10:40~11:25
4 校時	11:30~12:15
〔給 食〕	12:15~12:55
〔清 掃〕	13:00~13:15
〔昼休み〕	(水曜 5 校時) ~14:00 (下校 14:15)
	(3 年 ~ 6 年)
5 校時	13:40~14:25
6 校時	14:30~15:15
〔委員会	14:15~15:00〕
〔クラブ	14:15~15:15〕